

021 世の罪を取り除く神の小羊

ヨハネによる福音書 1 : 19～34、マタイ 3 : 1～12、マルコ 1 : 2～8、ルカ 3 : 15～17

▶洗礼者ヨハネの証し（ヨハネによる福音書 1 : 19～28）

19 さて、ヨハネの証しはこうである。エルサレムのユダヤ人たちが、祭司やレビ人たちをヨハネのもとへ遣わして、①「(あなたは何の資格もないにもかかわらず、皆に洗礼を授けているが、) **あなたは、どなたですか**」と質問させたとき、

→ユダヤ人（の宗教的指導者）たちが、エルサレムから祭司やレビ人たちを(19b、聖書協会共同訳)

→ここでのユダヤ人たちは最高法院に属する議員で、エルサレム神殿の祭司職に就き、ファリサイ派や他の指導者たちに影響を持つユダヤ教教師でもあった。ローマ帝国は最高法院に、ユダヤ人の慣習、特に宗教に関する決定権を与えていた。

20 彼は公言して隠さず、「わたしはメシアではない」と言い表した。

→メシア（ギリシア語：メシアス）は、ヘブライ語の「マシアハ」に由来し、「(油を) 塗られた者」「油注がれた者」「選ばれた者」の意で、メサイアまたはメサイヤは日本語における音訳である（サムエル記上 12 : 3～5）。ちなみに、「キリスト」は、「油注がれた者」のギリシア語「クリストス」に由来し、クリストスからの日本語における片仮名表記である。

→イエスをメシアとして認めた場合の呼称が「イエス・キリスト」である。

21 彼らがまた、②「では何ですか。あなたはエリヤですか」と尋ねると、ヨハネは、「違う」と言った。更に、③「あなたは、あの預言者なのですか」と尋ねると、「そうではない」と答えた。

→背景：マラキ書 3 : 23

見よ、わたしは／大いなる恐るべき主の日が来る前に／預言者エリヤをあなたたちに遣わす。

→あの預言者：ここではメシア同様に待望されていた預言者（ヨハネ 6 : 14、申命記 18 : 15～18）。

→申命記 18 : 15

あなたの神、主はあなたの中から、あなたの同胞の中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない。

22 そこで、彼らは言った。④「それではいったい、だれなのです。わたしたちを遣わした人々に返事をしなければなりません。あなたは自分を何だと言うのですか。」

23 ヨハネは、預言者イザヤの言葉を用いて言った。

「わたしは荒れ野で叫ぶ声である。『主の道をまっすぐにせよ』と。」

→イザヤ書 40 : 3

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

24 遣わされた人たちはファリサイ派に属していた。

25 彼らがヨハネに尋ねて、⑤「あなたはメシアでも、エリヤでも、またあの預言者でもないのに、なぜ、洗礼を授けるのですか」と（いらつき、怒りながら）言うとき、

26 ヨハネは答えた。「わたしは水で洗礼を授けるが、あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。27 その人はわたしの後から来られる方で、わたしはその履物のひもを解く資格もない。」

→履物のひもを解く：ユダヤ人奴隷は、当然、主人に仕えるが、くつのひもを解くことまではしなかった。それは、異邦人の奴隷の役割（履物のひもを解くことは、当時、最低の仕事と考えられていた）であった。

28 これは、ヨハネが洗礼を受けていたヨルダン川の向こう側、**⑫ベタニア**での出来事であった。
→**⑫**のベタニア（**⑬**ではない）



▶**神の小羊（メシアの登場、ヨハネによる福音書 1：29～34）**

29 その（審問の）翌日、ヨハネは、自分の方へイエス（→神の子、主の僕）が来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。」

→洗礼者ヨハネはイエスをたとえて、散らばった神の民を一つに回復するために屠り場に黙々と引かれていく犠牲の小羊のようだと
言った（イザヤ書 53：4～12）。小羊はまた、過越祭で祭司に屠られる小羊も意味する。過越祭は、エジプトで奴隷だったイスラエルの民を神が解放したことを覚えて祝われた。
パウロは、「わたしたちの過越の小羊」としてのイエスに言及する（1コリ 5：7）。

太陽暦・ユダヤ暦・バビロニア暦

太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月（ヘブライ暦）	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nissan	イヤール Iyyar	シバン Sivan, Sivan	タムーズ Tammūz	アブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルヘシュバン Marcheshvan	キスレーヴ Kislev, Kislev	テベット T'ebheth	シュバット Shevat	アダール Adhar, Adar	
バビロニアの月名 （：カナン）の古称	ニサン （アビブ）	イッヤル （ジウ）	シワン	タンムズ	アブ	エルル	ティシュリ （エタニム）	ヘシュワン （ブール）	キスレウ	テベト	シェバト	アダール	
主な行事	七週間			七週祭（シャブオット） Ⅱ 五旬祭（ペンテコステ Pentecoste ギリシア語） 1：新年 10：大贖罪日 15～21：仮庵祭（スコット） 25：宮清めの祭（25日～8日間） ※ユダヤの三大祭：過越祭、七週祭、仮庵祭									
	14～21 過越祭（ベサハ） 除酵祭												

- ・ユダヤ暦は、日本の旧暦と同じく、月の満ち欠けを基準に月を決める方式（太陰太陽暦）です。
- ・ユダヤ暦は、一日が日没（夕方）に始まり、次の日の日没（夕方）に終わります。それは、聖書の創造の記事に「夕べがあり、朝があった」（創世記 1：5 他）と記されているからです。
- ・イスラエルでは普段の生活には、西暦も使っていますが、ユダヤ教の祝祭日や公式行事はユダヤ暦によって決められています。
- ・ユダヤ暦は天地創造を起点にして数えることになっており、西暦+3760年（西暦よりも3760年長い）となる。

©聖書とともに会 H.Taniguchi

30『わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。31 わたしはこの方を知らなかった。しかし、この方がイスラエルに現れるために、わたしは、水で洗礼を受けに来た。」

32 そしてヨハネは【証し】した。

「わたしは、“霊”が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。

→ヨハネによる福音書（イエスの内面を描いた、イエスと神との関係を最初に書いた福音書）だけが、イエスの洗礼そのものではなく、洗礼者ヨハネの証しの言葉を記している。

33 わたしはこの方を知らなかった。しかし、水で洗礼を受けるためにわたしをお遣わしになった方が、『“霊”が降って、ある人にとどまるのを見たら、その人が、聖霊によって洗礼を受ける人である』とわたしに言われた。

→聖霊によって洗礼を受ける：神が霊をイエスに降らせたように、イエスはイエスに従う者に霊を降らせる（ヨハネ 1：32）。

34 わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証ししたのである。」

→神の子：ヨハネによる福音書は、イエスこそがイスラエルを治めるために神が選んだ者だと主張する。